

瓶入りジャムのラベルデザイン

【開発の背景】

つくば市内にはブルーベリー生産者による協議会があり、各社にて摘み取り体験やブルーベリーを用いた製品生産など活発に活動が行われています。

今回の支援先であるつくばブルーベリー園でも、ブルーベリージャムやブルーベリー葉茶などを生産しています。

【開発の経緯・支援内容】



H23 年度 ブルーベリー葉茶のラベル

平成 23 年度に企業からの受託研究で、ブルーベリー葉茶の製造法（地場食品部門）とラベルデザインを支援しました。

今年度は企業ブランド力向上のために商品ラベルの統一を図りたいとのご相談を受け、平成 23 年度のブルーベリー葉茶ラベルデザインをもとに、企業で手がけているジャム製品（ブルーベリージャム、ラズベリージャム、ルバーブのジャム）のデザインリニューアルを支援しました。

【開発した製品の紹介】



〇色、形のポイント

全商品ともブルーベリー葉茶にあわせて基本的なレイアウトをそろえ、原料のイラストを大きく配置することで商品イメージを伝わりやすくし、黒を基調として高級感を持たせています。

〇2.3 倍の売上

デザイン活用による付加価値向上の効果を検証するために、リニューアルラベルを用いたテストマーケティングを企業にて行った結果、新デザインは旧デザインに比べ **2.3 倍の売上** がありました。

・テストマーケティング概要

- 日時：H24. 05. 24（木）～ 25（金）
- 場所：赤坂サカス（東京都港区赤坂 5-3-1）
- 方法：デザイン変更前後の製品を 30 個ずつ並列して同価格にて試験販売
- 結果：旧デザイン製品の売れ行き 12 個/30 個
新デザイン製品の売れ行き 28 個/30 個

主につくば市内の JA、農産加工販売所などで 350 円にて販売されています。

基礎となった事業

平成 24 年度 試験研究指導費（標準）

現在の担当部門

紬技術部門

部門長

篠塚 雅子

TEL:0296-33-4154

主任研究員

石川 章弘